

秋田県総合発展計画における土木部の基本目標

昭和56年度からスタートした秋田県総合発展計画も、昭和61年度から後期実施計画に入っているが、これは、総合発展計画の基本構想に掲げる理念を引き継ぐとともに県政発展の基盤となる大型プロジェクトをはじめ、交通網の整備など重要な施策と事業を実施するものである。

この基本目標は、祖先から引き継がれてきた県土を大切にしながら創造を加え「誇りをもって次の世代に引き継ぎできる秋田」を築いていくため県土の骨格ともいべき交通網の整備を進め①風土にあった産業が定着し、活力あふれる秋田、②はつらつとした健康と美しさに満ちた秋田、③人間が大切にされ、心がふれあう秋田、の三点を目標としている。

この基本目標を達成するため、県政各分野にわたる共通課題を提起するとともに、部門別課題と、その解決の方向を次の四つの柱にそって体系化し、施策の推進をはかることにしている。

- (1) 生活の豊かさを支える経済を発展させるために
- (2) 健康で暮しよい生活を実現するために
- (3) 豊かな県民性を培うために
- (4) 県土を結ぶ交通・通信体系の確立のために

土木部においては、次の基本方針にしたがって施策の推進をはかる。

[施策の推進の基本方針]

1. 生活の豊かさを支える経済を発展させるためには
建設業の振興をはかるため、経営指導、技術講習を強化し企業体質の改善や、労働環境の改善、元請、下請関係の合理化、地元企業への優先発注につとめる。
2. 健康で暮しよい生活を実現するためには
住宅の建設や、住戸改善を促進し、居住環境の整備を進める。
また、都市内交通渋滞の緩和や、緑豊かな街づくりのため市街地の整備を進めるとともに、公園、緑地および、下水道の整備を促進する。さらに洪水等の自然災害を防止し、生活の安全確保のため、砂防施設の整備、河川改修、海岸保全施設の整備を促進する。またダムについては、水資源とエネルギー確保のため多目的ダムを建設する。
3. 県土を結ぶ交通・通信体系の確立については
全国高速交通ネットワークと連結する交通体系をはかるため、東北縦貫自動車道弘前線に連結する小坂インターチェンジの建設につとめるとともに、東北横断自動車道釜石秋田線の建設を促進する。
また、高速交通施設へ連絡する幹線道路網と空港へのアクセス道路の整備や、都市と農村部を結ぶ生活圈交通の充実についても、各種路線の整備計画と整合をはかりながらその整備を促進する。

港湾については、秋田港を物流拠点港としての機能を充実するとともに、船川港、能代港については、国家石油備蓄基地、石炭火力発電所建設を含むエネルギー港湾として整備を推進する。